

展示会&講演会を開催します! (2009/6/22~7/3)

テーマ「リサイクル&リユースで国際協力」



アフガニスタン ランドセルを受け取る子どもたち(財)ジョイセフ

日本で集められたリユース・リサイクル品が国境を越え、どう役立てられているのかを写真でご紹介します。

(展示内容)

- 放置自転車・使われなくなったランドセルを届ける活動の紹介
日本から現地へ届けられるまでの過程や現地の方々の声を紹介します。
- 携帯電話から考える環境問題
携帯電話とゴリラの意外な関係をご紹介します。
- NGOによるリサイクル・リユースによる国際協力の取り組みの紹介
 - ・ハガキ、切手、CD、インクカートリッジの収集活動
 - ・ペットボトルキャップのリサイクル活動
 - ・本・古着・楽器・毛布・車いすのリユース活動

開催期間中、切手・ハガキ・携帯電話・インクカートリッジ ペットボトルキャップを回収します。どうぞお持ちください。

— 特別企画 講演会 — 場所:(財)自治体国際化協会 大会議室 (無料・要申込み)

- ① 6月30日(火)18:30—20:30
「国境を越えてよみがえるモノたち
～リユースによる国際協力の取組み～」
講師 簡野芳樹氏 (財)ジョイセフ 国際協力推進課長

所有者のわからなくなった放置自転車延べ6万台以上が、これまでに再生自転車として90ヶ国へ届けられています。この再生自転車があることで、病院のない地域でも看護師や保健士が病人のもとへ駆けつけることができるようになっています。

本講演では、放置自転車以外にも、ランドセル・学用品などのリユース品が現地でどのように役に立っているのかをご紹介します。



ザンビア 再生自転車を使う保健士たち(財)ジョイセフ

- ②7月1日(水)18:30~20:30 「捨てられたモノの行方を考える—途上国での健康被害と私たちの関係—」
講師 北橋みどり氏 (特活)国際協力NGOセンター NGO 専門調査員
エコ・リーグ(環境NGO 全国青年環境連盟) 国際チームリーダー

私たちが何気なく使用している携帯電話やポータブルプレーヤーなどの小型電化製品の裏側にある、電子機器廃棄による途上国での健康被害の現状や、レアメタルの採掘による環境破壊の現状を紹介します。

リサイクルの必要性、そもそもリサイクルが本当に環境保護につながっているのか?など、参加者のみなさんと一緒に考えます。